

会議名 令和4年度第1回広報広聴検討会議

開催日 令和5年3月1日(水)	会議時間	開会 13:30 閉会 14:50
会議場所 役場 多目的ホール	記録者	企画環境課広聴広聴係 川尻 夕姫
出席者 委員：小坂みゆき委員(座長)、沼尻賢治委員、 マイケル・ダベンポート委員、ランド千佳委員、山田友理子委員 町：企画環境課長、企画環境課参事、広報広聴係		

会議日程

- (1) 広報広聴全般について
- (2) 新しい情報発信(NOTE 開設)について
- (3) その他

会議内容

- 課長あいさつ
- 議事(小坂座長による進行)
- 大野係長より広報広聴全般について報告
 - ・コロナも落ち着いて海外からのお客さんが増えてきたので、広報12月号の行政推進員配布に英訳したゴミの分別のチラシを入れてもらえると、冬季シーズンだけ住んでいる人に渡せるのでありがたい。
(大野)すでに英語のゴミの分別表はあるので、担当に提案します。
 - ・一時滞在の人の目に触れるように、すべてのごみステーションに、英語版のルールを貼っておくとよいと思う。
 - ・一時滞在者は、どこでゴミ袋が買えるのか分からない。日本語がわからない人は、さらにゴミ袋に表示されている言語が日本語なので、どのごみ袋を買えばいいのか分からないので、ごみ袋に他の言語(まずは英語)も併記してほしい。
→ゴミ袋に英語は併記済。
 - ・シーズンだけ滞在している外国人に英語の分別表を渡そうと思って、町のHPでゴミの分別表を探したが、英語版も日本語版も見つけれず役場に取りに来た。ホームページにも英訳した分別表を載せて欲しい。
(大野)ゴミのルールに関してはHPに掲載しているはず。深いところにあって見つけにくかったかもしれない。ごみ分別方法を表示するページの場所の変更を検討する。
→ゴミ分別アプリを導入したときに掲載をとりやめていたので、今回再掲載。
 - ・役場で問い合わせの多いもの(苦情や意見)は、HPで探しやすくしたらどうか。
(大野)広報広聴係には、苦情は少なく情報提供が多い。ゴミや除雪についての意見は、広報広聴係ではなく直接所管に連絡がいつている。
- ・12月号に掲載された除雪に関して、高齢者向けの助成制度があると聞いたが、対象者の詳しい情報はどこかに載っていたのか。助成制度があることすらほとんど知られていないし、「高齢者向け」と記載があるが、高齢者とは何歳以上かがわからず、知り合いが

困っていた。具体的な年齢など詳しく情報を掲載すると使いたい方に優しいと思う。

（大野）11月号のくらしの情報に除雪の助成制度について詳細を掲載した。しかし、保健福祉課の制度には年齢の記載があるが、社協の除雪サービスについては、年齢の記載はなかった。

（高瀬）雪が降る前に、社協や福祉が行っている事業をまとめたチラシを配布する、もしくは広報に掲載するよう、福祉関係の部署に提案する。

- ・12月号の除雪（情報室）の記事のように、社会見学のような内容は面白い。
- ・ゴミの特集があればいいと思う。昨年、町主催のごみ処理施設の見学会に参加したがすごくおもしろかった。リサイクルの流れやゴミのルールについて見学会の内容も交えた特集がいいと思う。
- ・分別することで、どれだけリサイクル率があがるかなどがわかれば、分別するインセンティブにもなる。
- ・生ごみの堆肥化や、堆肥センターのことも多くの町民に知ってもらえたらいい。

・ラジオでの役場からのお知らせは日本語だけか。外国人のラジオの所有台数が少ないが、外国人が防災ラジオを所持するメリットはあるのか。

（大野）役場からのお知らせは基本的に日本語だけだが、J-ALERTなどの緊急放送では英語も流している。また、外国人がパーソナリティを務めるラジオ番組もある。

・外国人向けの「お助けダイヤル」をつくってはどうか。日本語が全く分からない外国人も助かるし、英語が分からない日本人も電話番号だけ伝えれば解決するので助かると思う。

・（大野）今も役場に電話してもらえれば、国際交流員が対応できる。また今は構想段階だが、来年度から広報誌で国際交流員のコーナーを作ろうと考えていて、連絡先を英語でも書いて分かりやすくすることは可能。

・ニセコプロモーションボードのHPのように、町のHPにAIチャットボットを導入すれば、便利になる。

（大野）検討する。

●赤星参事より SNS 広報戦略、LINE・note 運用報告について説明

・noteの記事の内容は、広報と同じでも問題ないと思う。逆に広報で紹介しきれなかった内容をnoteで掘り下げるのも面白い。

・noteの内容をFacebookでシェアしないともったいないので、まずはnoteを更新したらFacebookでお知らせして、広めていくとPV数も増えると思う。

（赤星）今まで、Facebookでnoteの記事をシェアしていなかったので、今後はシェアするとともに、広報誌との連動企画も考えていく。

（大野）広報は町民に読んでもらいたいと思って書いている。noteは町外の人が読むものと認識しているが、広報の内容をnoteに載せても大丈夫か。

・例えば、山が好きで移住したいという人にとっては昨年8月号の山登りの特集はとても面白いものだと思うので、コンテンツの選び方だと思う。

・noteにも知っている町民がたくさん出ていて町民が読んで楽しい。ニセコ町公式

note があることは町民にほとんど知られていないので、もったいないと思う。

・PV を伸ばしていくのであれば、町外の人に関心が高い部分（移住・職・住宅など）を特化して紹介すると、町に人を呼びこむコンテンツになると思う。

（赤星）まずはニセコ町公式 note の認知拡大と、広報誌との連携を図っていく。

・赤星さんがいなくなったら、note の運用はどうなるのか。

（赤星）4 月から協力隊員が新しく入隊するので、その人に引き継ぐ。9 月までは私もいるのでサポートしながら運用していく。

・LINE で緊急時の配信がされるのはいいことだが、解決した時の連絡は素早くしてほしい。LINE しか見ていない人もいる。以前、近藤地区水源の濁りで節水の連絡が LINE できたので、湧き水をくみに行ったり、温泉に行って、なるべく水を使わないようにしていた。翌日どうなったか知りたくて役場に電話したら、昨日解決したといわれた。

（大野）その通り。連絡が遅れてしまって申し訳ない。

・町 HP は自動翻訳はあるが、PDF は翻訳されるようになったのか。HP をクリックしてたどって行って、最後の一番知りたい情報、体育館などの公共施設のイベントカレンダーが pdf で日本語しかなくて残念。

（大野）やはり PDF の翻訳はできない。今後もできるようになる予定はない。PDF 以外の HP の文章は自動翻訳のほか、国際交流員も手作業で修正してくれているが、国際交流員と連携して施設情報の作成もしていけたらと思う。

・外国人が知りたい情報は、公共施設の開館時間やイベントカレンダーなど限られている。一度作成すれば使いまわしができるし、月ごとに日付が変わっても、そんなに難しい英訳ではないので、一度 pdf の英訳もつくったらいいと思う。